

草津市教育委員会会議録

令和5年1月定例会

(1月30日開催)

草津市教育委員会

出席委員	教 育 長	藤 田 雅 也
	委 員	小 辻 寿 規
	委 員	我 孫 子 智 美
	委 員	森 登 世 美

事務局出席者	教育部長	増 田 高 志
	教育部理事（学校教育担当）	菊 池 誠
	教育部副部長（総括）	田 中 三 男
	教育部副部長（スポーツ推進・スポーツ大会担当）兼 スポーツ推進課長	宮 田 勝 一
	教育部副部長（図書館担当）兼 図書館長	二 井 治 美
	教育部副部長（学校教育担当）兼 学校教育課長	上 原 忠 士
	教育総務課長	吉 田 克 己
	教育総務課係長	永 田 厚 子

令和5年1月草津市教育委員会定例会会議 次第

令和5年1月30日 午後3時00分開会

日程第1 会期の決定について

日程第2 12月定例会会議録の承認について

日程第3 教育長報告

日程第4

付議事項 (1件)

議第67号 臨時代理の承認につき議決を求めることについて

日程第5

報告事項 (1件)

(1) 寄付の受け入れ報告について

開会 午後３時００分

藤田教育長

ただいまから、草津市教育委員会１月定例会を開会いたします。

まず、新たな教育委員として、森 登世美さんをお迎えすることになりましたので、自己紹介をお願いいたします。

森委員

失礼いたします。森と申します。この度、教育委員として関わらせていただくこととなりました。私は３８年間中学校教育に携わらせていただきました。その後の４年間は幼稚園長として就学前教育にも携わらせていただきました。４２年間の教職生活の中で、最後の１６年間は草津市で勤務させていただきました。素晴らしい子どもたちとの出会いや、多くの先輩、同僚の先生方との出会いがあり、たくさんの感動を貰いました。今回、このような形で教育に関わらせていただき光栄に思います。先日、事務局の課長の方々から担当されている業務内容について丁寧に御説明していただきました。お忙しい中、本当にありがとうございました。未熟な私に何が出来るか分かりませんが、まずは整理して正確に理解することから始めたいと思います。少しでも役に立てるよう努力し、精一杯頑張りたいと思いますので、御指導のほどよろしくお願いいたします。

藤田教育長

ありがとうございました。こちらこそ、どうぞよろしくお願いします。

議事に入ります前に、本日、松嶋委員より欠席届が提出されておりますので、御報告いたします。

—————日程第１—————

藤田教育長

日程第１「会期の決定について」でございますが、本日１日限りとしたいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

各委員

— 異議なし —

藤田教育長

異議がないようですので、１月定例会は本日１日限りといたします。

———日程第2———

藤田教育長

日程第2「12月定例会会議録の承認について」であります。
あらかじめ事務局から配付され、熟読させていると思いますが御
異議ございませんでしょうか。

— 異議なし —

各委員

異議がないようですので、12月定例会の会議録は承認された
ものと認めます。

———日程第3———

藤田教育長

次に日程第3、「教育長報告」に移ります。

まず私の方から諸般の報告をさせていただきたいと思います。

新年初めての校長会が1月6日に開催され、年頭に当たっての
訓示を申し上げました。ここ3年間は、新型コロナウイルス感染
症の拡大によって、学校現場では教育活動に大きな制約がありま
したが、今しかできない体験、経験、学びがあります。そのこと
を念頭に、「学びを止めない」そして「子どもファーストの姿
勢」のもと、引き続き創意工夫をした教育活動の充実を改めてお
願いたしました。また、昨年の4月をお願いした4つのキーワー
ドのうち、説明責任と情報発信は学校に対する信頼度の向上に繋
がり、そのことが学校や教員、子どもたちを応援する市民世論の
形成につながる重要な取組であることから、しっかりと実践をし
ていただくようお願いをいたしました。そして3学期は、次の学
年や学校へのステップとなる大切な学期でありますので、これま
で以上に学校と教育委員会が一致団結して、仕事に当たっていただ
きたい。このようにお話をさせていただいたところでございま
す。

次に1月20日、高穂中学校に訪問いたしました。高穂中学校
では、スクールESD草津事業の一環で「たかほ学」に取り組ん
でいます。この日は1年生と3年生がこれまでの取組を発表し、
その学びを支援していただいている関係機関や地域の皆さま、行
政職員も参加をいたしました。1年生は歴史、自然、産業、開

発、防災の分野でそれぞれの課題を焦点化し、課題解決の方法を考え、発表されました。その発表に基づいて、2月には計画を実行して検証する取組をされるということでございます。3年生はSDGsの視点で、滋賀県や草津市の活動を調査し、市政への提言が行われ、関係部署の行政職員と活発な意見交換が行われました。生徒の皆さんの提案は素晴らしく、また大変鋭いものばかりで、特に多面的に物事をとらえている点が素晴らしかったです。多面的に物事を見るということは、一人ひとりの違いを認めることからスタートします。いろいろな考え方があってよいということの意味していると思います。まさにSDGsの17番目のゴールである「パートナーシップで目標達成しよう」に合致するものです。この学びを生かし、他の人と協力し、社会を作っていく一員として活躍してくれることを大いに期待したところでございます。

次に、1月21日、大寒の翌日で寒さが厳しい早朝から、矢橋町の鞭崎神社の表門を対象とした文化財消防総合訓練が開催されました。訓練には地元町内会をはじめ、第一方面隊の消防団、神社関係者、湖南広域消防局、教育委員会から総勢45名の参加があり、私も訓練現場本部の総監として参加いたしました。訓練は神社の雑木林から出火したとの想定で、神社関係者からの通報により、地元矢橋町自治会による初期消火が始まり、その後、草津市消防団による消火活動や情報収集が行われ、表門は水煙幕により防御される中、鎮火しました。終了式では、私の方から訓練への感謝を述べるとともに、これからも後世に引き継ぐため、所有者、地域の皆さまの引き続きのご支援をお願いいたしました。草津市内には何百年も前から大切に守られている文化財が多く現存しており、これらを後世に残していくためには、文化財の活用が重要だと考えております。日頃の維持だけではなくて、文化財の鑑賞や学術的な利用、また、まちづくり教育での活用など、様々な視点から文化財の関心や理解を図っていかねばなりません。これからも多くの皆さんと協力して文化財の管理・活用の推進を図って参りたいと考えております。

その翌日、1月22日に第68回の草津市駅伝競走大会、第26回の草津市スポーツ少年団交流駅伝競走大会が矢橋帰帆島で開催され、総勢501名の参加がございました。開会式では、主催者を代表して私から激励の挨拶を行いました。2025年には、

滋賀県で国民スポーツ大会全国障害者スポーツ大会が開催されますので、駅伝大会開催を機に、国スポ・障スポに向けた機運を益々高めていきたいとお伝えいたしたところでございます。駅伝会場を見回しますと市内の教員の姿があり、聞くと市内の小学校の教員により2チームが編成され、エントリーされたとのことでした。このように教員の皆さんが学校外で力を合わせて一つの目標に向かう姿は、教員のチームワークの強さと職場での風通しの良さを感じ、大変嬉しく思ったところです。これからも草津市スポーツ協会をはじめ、多くのスポーツ関係団体の皆さんと連携し、「ALL くさつ」で健康スポーツのまちづくりに取り組んで参ります。

最後に、新聞報道等で御承知のことと思いますが、新型コロナウイルスの感染症の法上の位置付けが5月8日から季節性インフルエンザと同等の5類に引き下げられることが表明されました。また、マスクの着用についても一律のルールは設けず、屋内屋外を問わず、個人の判断に委ねることを基本とするとされ、なおかつ緩和時期も含めて早急に検討の結果が示されるということでございます。特に教育分野におきましては、子どもたちだけでなく教職員も含め、マスクの着用により表情が読み取りにくい、学習指導や生徒指導、そして友人関係などコミュニケーション全般に支障をきたし、これらによるいじめやトラブルの発生、また学校が楽しくないと感じるなど多くの影響がございました。今後Withコロナとして日常を取り戻すことができるように進めていくことが基本となって参ります。具体的な対応については、政府の議論や文科省の考え方などの情報により、市教委としても、学校現場とともに協力検討していくとともに、教育委員の皆さまにも適宜御意見を伺って参りたいと考えておりますのでよろしくお願いをいたします。

以上で私からの報告を終わります。

それでは、続きまして委員の皆様から、教育全般に関する事項で御意見、御感想などをお願いいたします。

小辻委員

12月のことになりますが、草津宿街道交流館におきまして、地域の文化を知るために文化財の清掃をさせていただくイベントを、立命館大学の学生が企画・実施させていただきました。地域の小中学生も含めて多数の参加があり、草津の文化を守ってい

く、歴史に対して興味を持つ機会になったと聞いております。私もイベントに参加させていただきました。御協力いただきました教育委員会関係者の皆様、ありがとうございました。

「二十歳のつどい」に参加させていただきました。「二十歳のつどい」の式が大変良かったということは言うまでもありませんが、ある方から実際、式には参加はしていないが、ライブ配信で参加した方がおられました。様々な事情があり式に参加できないということもあると思いますが、そういう方々もライブ中継を見る、録画されたものを見ることができたと聞いております。大変良かったという言葉をいただいておりますので、コロナが5類になるという話がありますが、可能であれば、今後もこのようなニーズを踏まえ、様々な形で参加できるように、二十歳の皆さんに御配慮いただけると嬉しく思います。そして、二十歳のつどいにおきましては実行委員の皆様が色々と考えて作られたと聞いております。年度によって物事が変わってくると思いますが、今年度のビデオは大変見やすく、端的にまとまっておりメッセージも伝わって良かったです。実行委員の皆様が非常に頑張っていたと思いますので、お礼を申し上げたいと思います。

二十歳の皆様の中にも民族衣装を着ておられた方がおられましたが、この度、草津市立図書館で「世界をめぐろう」をテーマに、ヤングアダルトコーナーにおすすめの本が並んでいるということで、これも素晴らしい企画と思います。草津市の中にも様々な国籍の方がおられますし、また世界に自分たちが行くこともあろうかと思います。自分と他者の違いや、自分と他者の同じ部分など様々なことを知る機会を作っていただいていることが良いなと思っております。今後もこのような素敵な企画を、ホームページへの掲載等を通じてアピールしていただければと思っています。図書館では若い方々が書いた絵で本を紹介するなど、新しい取組もされていると思いますので、今後も進めていただきたいと思います。

最後に、生涯学習課で令和4年度の学びの地域支援講座を開催されていると聞いております。地域の皆様に聞いたところ、平成31年度以降は新型コロナウイルス感染症の対策を行うため、これまでと形式を変えて行っていましたと聞いております。学び直しや生涯学習の支援はこれからも必要だと思いますし、コロナ禍で変わってしまったものもあると思いますが、しっかりと推進し

我孫子委員

ていくことが地域の方々にとっても大事なものと思っております。以上でございます。

先週は大雪で、家の前を長靴は履いているのですが半袖で登校する子どもたちを見て、元気だなと思ってほっこりしました。コロナやインフルエンザで学級閉鎖も増えてくるとは思いますが、元気に学校生活を過ごして欲しいです。

1月9日に「二十歳のつどい」に参加させていただきました。今年も落ち着いた式で非常に良かったです。私が陸上をしているので、知り合いの山本亜美さん、藤原孝輝さんという陸上界で今トップの選手2人が、草津市で同時に二十歳を迎えました。二人と連絡を取らせていただきましたところ、パリオリンピック、滋賀国体に向けてそれぞれ頑張ると聞いております。そちらの方もとても楽しみにしております。国体に向けてこれからどんどん加速すると思います、私もそちらの方向で良いお手伝いが出来ればと思っております。今年もよろしくお願いいたします。

森委員

教育委員になって1か月が経ちました。私の方からは、3点お伝えいたします。

1点目は、1月9日の「二十歳のつどい」の午後の部に参加させていただきました。式典で代表の方が、「コロナで様々な機会を奪われたけれど、私たちには同じ状況を過ごす仲間がいました」ということをお話されました。「様々な機会を奪われたけれど」の短いフレーズの中に、この2年間大変な思いをされたんだろうなということが想像できました。例えば高校3年生で最後の行事が出来なくなったり、あるいは就職、進学するにも自分が描いてきたものと違っていたり。そういったことが想像できましたので、今回無事に二十歳のつどいが開催できて本当に良かったと思いました。今回のテーマは「櫛」と書いて「ツナグ」と読むらしいのですが、これから色々なことがあっても、自分を信じて走りぬいて欲しいと思いました。式典としては全体として静かに話を聞かれていたように感じました。実は十数年前になりますが、当時の教育委員会の方が、「静かに話を聞く事が出来る成人式にしなければならない」と話していたのが思い出されて、おそらくこの十数年間の間、その年その年の実行委員の方たちや担当の生涯学習課を中心とした教育委員会の方たちが大変な御苦勞をされ

て、積み重ねてこられたものが今に繋がっているのだろうなというふうに感じました。これからも繋げていって欲しいと思います。私事ですが、中学校で最後に過ごした年の生徒が参加するつどいでありましたので、少し早目に会場に到着した時、卒業生が声を掛けてくれて、成長した姿を見ることができ、非常にうれしいことでした。

2点目に、1月20日スクールE S D草津推進事業のモデル校になっている松原中学校を訪問させていただきました。2年生が草津市の農産物をPRするベジクサPRコンテストの日でした。当日は二十数名の生産者の方に加えて、地域の小学校の校長先生、こども園の園長先生、地域の方も参加されていました。生徒たちは自分たちのグループで作ったポスターを前に、例えば愛彩菜、琵琶湖元気アスパラ、草津メロン、とうもろこし等、これらをポスターに描きながら生産者の思いや栄養が良いこと、アレンジレシピ等そういったものを語りながら、参加者がそれに対して質問をして、その質問に答えるポスターセッションをやられていました。この日に至るまでに、生産者の方に来ていただいて話を聞いたり、生徒の代表が収穫体験をしたりするなどの交流があるからこそ、こんなにもたくさんの方が当日参加して下さったと思いました。E S Dのコーディネーターの先生に、松原中学校のE S Dの取組の良いところは何ですかとお聞きしたら、「生徒会が中心となって生徒が主体的に行っているところが良いところだと思います」とおっしゃっていました。ではこれからの課題は何ですかとお聞きしたところ、「発信するだけでとどまらず、やはり生徒が自ら行動できる行動力に繋げていきたい」と話をされていました。中学生が地域の一員として、地域の課題を自分事と捉えて中学生なりのアイデアで何か行動が起こせたら、それはすごいことだなと思います。松原中学校では、「まつばら大根」と名前がついた大根を栽培するため、畑を作ってやっておられました。これからの生徒の活躍を期待したいと思います。

最後になりますが、ソニー教育財団が行っているソニー幼児教育支援プログラムというものがあります。1月19日に全国的に応募された保育実践論文の入賞発表があり、草津市立笠縫東こども園が優良園を受賞されました。ソニー教育財団が科学する心を育てるということを焦点に、保育所・幼稚園・こども園などを支援するプログラムです。15ページ程のボリュームで、実践事例

をもとに考察をたてて論文にしたものです。全部で162件の応募があり、優良園は上から三つ目の賞で、本当になかなか受賞できない賞を受賞されていました。自分の保育を言語化するのは難しいと思いますが、この様に挑戦を続けていって欲しいと思います。以上です。

藤田教育長

ありがとうございました。

それでは「教育長報告」につきましては、以上で終わらせていただきます。

—————日程第4—————

藤田教育長

次に、日程第4「付議事項」に移ります。

議第1号「臨時代理の承認につき議決を求めることについて」は、人事に関することであり、会議を公開しないこととすべきであると考えます。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項では、「教育委員会の会議は公開する。ただし、人事に関する事件その他の事件について、教育長または委員の発議により、出席者の3分の2以上の多数で議決したときは、これを公開しないことができる」となっておりますので、この規定に基づきお諮りいたします。議第1号を公開しないこととすることについて、御異議はございませんでしょうか。

各委員

— 異議なし —

藤田教育長

異議なしと認めます。よって議第1号を公開しないことといたします。この議案につきましては、報告事項の終了後に審議を行うことといたします。

—————日程第5—————

藤田教育長

次に日程第5、報告事項に移ります。事務局の説明を求めます。

教育総務課長

報告事項の1「寄付受け入れ報告について」教育総務課の吉田が御説明申し上げます。報告書は9ページでございます。公益財

藤田教育長

団法人河本文教福祉振興会様から寄付品目記載の児童用図書、生徒用図書を市内小学校および中学校に寄付をいただきました。寄付受け入れ報告につきましては以上でございます。

ただいまの「報告事項」につきまして、御質問等がございましたらお願いいたします。

それでは、「報告事項」につきましては以上で終わらせていただきます。

以上をもちまして、本日の議事は終了となります。他に何かございますか。それでは、これをもちまして1月定例会を終わらせていただきます。

閉会 午後3時30分